

2023FIBA ルール・インタープリテーション 主な変更点サマリーについて
20231005

JBA 審判 Gr
JBA 競技 Sec

2023年6月にFIBAにより示された「FIBA Official Basketball Rules 2022 –Official Interpretations Ver 3.0a」から主な変更点を抜粋したものをJBAホームページにおいて掲載いたします。

[＜2023FIBA ルール・インタープリテーション 主な変更点サマリーについて＞](#) ←ここをクリック

＜変更点の概要＞

- ① ショットのボールが空中にある間にショットクロックのブザーが鳴った後の特定の状況下でのゲームの再開方法の変更。
- ② ボールをコントロールしているプレーヤーとノーチャージセミサークルエリアに触れている、もしくは触れていた相手プレーヤーとの間に起きたコンタクトについて、これまで明記されていなかった事例を追加。
- ③ 第4クォーターあるいはオーバータイム残り2分でスローインファウルが宣せられたあと、もう一方のチームにテクニカルファウルが宣せられた事例について、これまで明記されていなかった処置と再開の方法を追加。
- ④ プレーヤー兼ヘッドコーチがそれぞれの立場でファウルを宣せられた場合にゲームに出場できるかどうかやチームを指揮することができるかどうかについて明記。
- ⑤ 「観客」に対する著しくスポーツマンらしくない行為に対してもディスクォリファイングファウルとなることを追加。
- ⑥ ヘッドコーチチャレンジを請求できる事象が発生した直後にタイムアウトが認められ、そのタイムアウトの最中でヘッドコーチチャレンジが請求された事例について、これまで明記されていなかった対応方法を追加。

＜本変更点の国内適用時期＞

- ① トップリーグ（B1、B2、B3、Wリーグ）においては、原則、2023-24シーズンから適用。
- ② 2023年度天皇杯においては第2ラウンド、皇后杯においてはファイナル・ラウンドでのIRS導入に合わせて適用。
- ③ その他、国内競技会においては、2024年4月1日から適用。

参照：FIBA Documents Library

<http://www.fiba.basketball/documents>